

第32回日本脳卒中学会総会
第36回日本脳卒中の外科学会 ランチョンセミナー

CEA

Carotid
End
Arterectomy

のtips & pitfalls

術中操作および術前後管理の工夫

日時

2007年3月24日[土]
12時00分—13時00分

会場

JALリゾートシーホークホテル福岡
3階 ボードルーム
〒810-8650 福岡県中央区地行浜2-2-3

座長

神野 哲夫 先生
藤田保健衛生大学 脳神経外科

演者

細田 弘吉 先生
神戸大学大学院医学系研究科
脳神経外科学分野

【共催】 第32回日本脳卒中学会総会
第36回日本脳卒中の外科学会
日本脳神経核医学研究会
日本メジフィジックス株式会社

 nithon
medi+physics

CEAのtips & pitfalls

— 術中操作および術前後管理の工夫

Theme

「CEAと脳血流SPECT」について

脳機能画像検査である脳血流SPECTは、脳虚血、脳血管反応性の程度を客観的に評価することにより、CEAの適応決定、CEA後の効果判定に有用である。特にCEA前に高度の脳虚血と脳血管反応性の低下が検出された場合、術後の過灌流症候群（hyperperfusion syndrome）のリスクを予測することが可能であることから、手術手技、術後の血圧管理に重要な指標となる。このセミナーでは、演者の豊富な臨床経験と研究業績を元に脳血流SPECTを含めてCEA術前、術中、術後のTIPSについてわかりやすくお話いただけるものと期待します。

日本脳神経核医学研究会
運営委員（企画担当）

外山 宏

[藤田保健衛生大学医学部 放射線科]

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の強力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確率、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

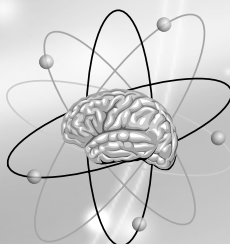
研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F
日本コンベンションサービス株式会社内
E-mail: infojcnn@convention.co.jp
Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN